

高岡裕之「1993年度の成果と課題・近現代史」
 窪田充治「自由民権運動に源を発する高知県の同和教育運動」
 吉井克信「研究情報〈前近代〉 網野善彦『中世の非人と遊女』」
 能川泰治「研究情報〈近代〉 重松正史「都市下層社会をめぐる政治状況
 —一九二〇年代の和歌山市—」
 『部落問題研究』131輯 (1994年12月)
 鈴木 良「続・『良き日のために』考—水平社創立をめぐるその(5)」
 松浦 勉「『大正デモクラシー』=『大正自由教育』研究と部落問題」
 須藤和美「江戸における髪結仲間について」
 尾川昌法「第32回部落問題研究者全国集会参加記／全体集会」
 木下光生「第32回部落問題研究者全国集会参加記／歴史Ⅰ分科会」
 菅木一成「第32回部落問題研究者全国集会参加記／歴史Ⅱ分科会」
 奥山峯夫「研究会報告・総合部会／尾川昌法「金静美著『水平運動史研究—民族差別批判』を読んで」」
 竹永三男「研究会報告・歴史部会／高岡裕之「1993年の部落史研究に関するコメント、
 井ヶ田良治「近代身分論の二三の問題」」
 畑中敏之「研究会報告・歴史部会／渡辺恒一「書評／塚田孝他編『身分の周縁』」

『部落問題と文芸』1号 (1988年7月)

北川鉄夫「創刊にあたって」
 桑原 律「部落問題文芸研究の現段階」
 津田 潔「久松義典『社会小説・東洋社会党』覚書」
 川端俊英「『破戒』の結末—丑松のテキサス行き」
 渡辺巳三郎「都賀庭鐘『古今奇談・英草紙』について(1)」
 北川鉄夫「資料『部落問題文芸ノート』(荆冠の友)」

『部落問題と文芸』2号 (1989年7月)

北川鉄夫「『明治の光』の文芸欄ノート」
 津田 潔「文芸作品の中の「部落」・補遺」
 渡辺巳三郎「都賀庭鐘『古今奇談・英草紙』について(2)」
 北川鉄夫「作品発掘／栗本露村作『新民學堂』について」
 山路靖子「部落問題文芸作品にみる「部落」の女性の結婚」
 桑原 律「森田草平と部落問題(1)『森田草平と北原泰作』」
 奈須アサ子「書評／『部落問題をとりあげた百の小説』を読んで」
 北川鉄夫「資料『部落問題文芸ノート』(荆冠の友)第2回」

『部落問題と文芸』3号 (1990年8月)

北川鉄夫「天誅組と西光万吉」
 西光万吉「作品紹介／戯曲『同志 岡見留二郎』」
 渡辺巳三郎「いわゆる「転向」後の西光万吉」
 住田利夫「麻生久『非人の親子』試論」
 北川鉄夫「覚書／『水平』の作者古手川忠助」

桑原 律「森田草平と部落問題・私論(2)『文芸の創作に関して水平社同人諸君に御相談』
 を読む」

北川鉄夫「資料『部落問題文芸ノート』(荆冠の友)第3回」

『部落問題と文芸』4号 (1991年11月)

北川鉄夫「『部落問題文芸作品選集』の周辺」

北川鉄夫「統天誅組と西光万吉」

故・西光万吉「作品紹介／『しぐれ』」

渡辺巳三郎「小田実『冷え物』と『ある手紙』を歩く」

桑原 律「森田草平と部落問題・私論(3)『差別的慣用語の可否について—森田草平氏に
 答ふ』を読む」

北川鉄夫「資料『部落問題文芸ノート』(荆冠の友)第4回」

『部落問題と文芸』5号〈北川鉄夫追悼号〉(1992年9月)

北川鉄夫「部落問題のうちそと」

木全久子・川端俊英・津田潔・住田利夫・渡辺巳三郎・山路靖子・桑原律「追悼」

『部落問題と文芸』6号 (1992年10月)

山路靖子「『融和文芸』作品へのこだわり」

住田利夫「西光万吉の『天誅組』四部作を読む」

川端俊英「戯曲『破戒』と藤村詩」

渡辺巳三郎「田中のキツネの物語」

桑原 律「森田草平と部落問題・私論(四)小説『輪廻』における伏字問題」

故・北川鉄夫「資料『部落問題文芸ノート』(荆冠の友)第五回」

『部落問題と文芸』7号 (1994年10月)

桑原 律「作品発掘／富士尾加生作『穢多の娘』について」

川端俊英「『セメント樽の中の手紙』を読む—働く者のいのちと人権」

渡辺巳三郎「近松門左衛門作『心中刃は水の朔日』(浄瑠璃)小論」

桑原 律「森田草平と部落問題・私論(五)『輪廻』に描かれた二人の被差別女性」

故・北川鉄夫「資料『部落問題文芸ノート』(荆冠の友)第六回」

<ミ>

『水と村の歴史』9号 (1994年9月)

佐藤純一郎「五郎兵衛新田村の年貢の変遷—一年貢割付状の分析から」

佐藤敬子「文化十三年の八幡・塩名田村両宿と助郷村々との人馬継立て紛争」

五島敏芳「近世被差別民の「参詣」について—武州下名和の場合」

斎藤洋一「近世の被差別民と医業業」

佐藤敬子「史料紹介／桑山村名主市之丞の日記(3)—文化十四年一月～十二月」

<モ>

『もちづき人権通信』3号 (1994年3月)

尾崎行也「近世の女性人口と小児養育仕法—信濃国佐久郡内の場合について」

山崎哲人「佐久地方の兵農分離と身分内身分の実態」

- 中尾健次「前近代部落史研究の現状と課題（報告1）成立・近世前期」
のびしょうじ「前近代部落史研究の現状と課題（報告2）近世中・後期」
森栗茂一「前近代部落史研究の現状と課題（報告3）民俗」
渡辺俊雄「前近代部落史研究の現状と課題（報告4）部落史の枠組み」
吉村智博「近代部落史研究の現状と課題」
門馬幸夫「書評／原田信男『歴史のなかの米と肉—食物と天皇・差別』」
南川久子「書評／細川涼一『逸脱の日本中世』」
宮田 登「書評／東日本部落解放研究会編『込皆戸の歴史と生活—粕川村込皆戸地区・
歴史調査報告書』」
———「資料／部落史関係文献目録（1993年4月～1994年3月）」
『部落解放研究』100号〈第16回全国部落解放研究者集会〉（1994年10月）
鄭棟柱「記念講演／白丁の起源について」
鄭棟柱「白丁に対する差別の現状と解放のための課題」
佐藤泰治「部落史の見直しへの一視角—越後の身分制と渡守の地平から」
藤野 豊「部落問題と優生思想」
———「『部落解放研究』1号～100号索引」
『部落解放研究』101号（1994年12月）
永井良和「書評／大日方純夫『日本近代国家の成立と警察』」
『部落解放研究』1号（広島部落解放研究所、1994年6月）
藤井勝之「親鸞の人権思想」
小武正教「『忌』を問い直す（国家の習俗管理の視点より）—現在の「忌中」「年忌」の
背後にどのような歴史が積み重ねられてきたのか」
正木峯夫「部落史研究と宗教の課題」
『部落解放史・ふくおか』74号（1994年6月）
金山登郎「史料紹介／山本作馬史料(5)」
大久保義士「部落解放福岡県共闘会議年表(3)1987～1989」
古文書学習会「近世民衆史の泉(19)」
『部落解放史・ふくおか』75・76号〈研究会創立20周年をむかえて〉（1994年12月）
朝治 武「水平歌物語—歌は運動をうつす鏡」
松下志朗「ケガレと部落差別」
上杉佐一郎「水平運動の精神に学ぶ」
大久保義士「部落解放福岡県共闘会議年表（完）」
古文書学習会「近世民衆史の泉(20)」
（た）「本の紹介／『全筑後水平社70周年記念誌』」
（た）「本の紹介／『「六曜」迷信と部落差別』」
———「福岡部落史研究会創立二〇年の歩み」
———「『部落解放史・ふくおか』総目次（創刊～74号）」
———「『部落解放史・ふくおか』項目別目次（創刊～74号）」

- 『部落解放闘争』14号（1994年8月）
キム・チョンミ「甲午農民戦争・「日清戦争」100年後」
釣舟良一「全国水平社青年同盟について（続）」
宗像啓介「五〇年朝鮮戦争と部落解放闘争（上）」
『部落問題—調査と研究』109号（1994年4月）
真木恒重「美作部落研25年の歩み」
岡映・庄司武雄・水杉清・中山博・高原重美・山口圭「座談会／それぞれの解放運動史
（1）」
末永弘之「今、部落史を問う、津山藩からの考察(2)」
守屋 茂「同和問題あれこれ(2)街角に拾う佳談の数々」
大森久雄「資料紹介／岡山県民主教育関係資料(9)」
岡あきら「荆冠記／第十話「眺望」第二章」
『部落問題—調査と研究』111号（1994年6月）
末永弘之「今、部落史を問う、津山藩からの考察(3)」
『部落問題研究』128輯（1994年4月）
藤野 豊「『特殊部落』観克服の模索」
青木孝寿「研究ノート／1930年前後の部落青年の生活と思想—「累年日記」からみた事
例」
李 貞信〈松田皓平・訳〉「高麗時代公州鳴鶴所民の蜂起に関する研究」
吉井克信「研究情報／松尾剛次『中世都市鎌倉の風景』」
能川泰治「研究情報／加藤陽子『模索する一九三〇年代—日米関係と陸軍中堅層』」
松浦 勉「研究情報／小川正人「『アイヌ教育制度』の廃止」」
『部落問題研究』129輯（1994年8月）
畑中敏之「国民融合論の歴史認識」
前田正明「諸獣類取捌きとかわた身分」
勝男義行「近世後期斃牛馬処理の具体像」
加茂幸男「姫路藩領高木村における皮革生産・流通の研究」
小路田泰直・小谷汪之・鈴木正幸・安田浩「シンポジウム／近代における身分と部落問
題—比較史の視点から—」
安田 浩「近代日本における身分・階級・差別」
小路田泰直「身分制の構造と近代化」
吉川 徹「部落の歴史から町民の歴史へ」
谷口幸男「私の「部落問題学習」の歴史」
住田利夫「明治三十年代の文芸作品のなかの「差別」—泉鏡花の場合」
川端俊英「正岡子規の小説と俳句—その人権認識にかかわって」
『部落問題研究』130輯〈1993年部落問題研究の成果と課題〉（1994年10月）
脇田 修「1993年度の成果と課題・前近代」

- 森本覚修「西光万吉を憶う一業思想をめぐって」
 神内正信「西光万吉が見たもの(1) 起きてみろ一夜明けた」
 金松俊一「書評／『西光万吉集』『西光萬吉の絵と心』『西光万吉』
 <ス>
 『すいへい・東京』1号(東京部落解放研究会、1994年1月)
 川元祥一「文化の変革と意識の変革—東京の部落の文化の歴史から」
 『すいへい・東京』3号(1994年12月)
 藤沢靖介「弾左衛門と幕末・近代初頭の被差別部落」
 『スティグマ』7号(『人権啓発千葉』改題、1994年11月)
 坂井康人「常陸の「雑種賤民」一門付芸を中心に(上)」
 柄 俊雄「よむ／原田信男『歴史のなかの米と肉』」
 白井一道「本棚から／菊池山哉『特殊部落の研究』」
 <ナ>
 『ながさき部落解放研究』29号(1994年10月)
 渡辺俊雄「現代史の中の部落問題」
 伊藤 闊「部落問題学習／部落史学習に取り組んで」
 <ヒ>
 『ヒューマンライツ』73号(1994年4月)
 乾 武俊「被差別部落の伝承文化を訪ねて(4)佐渡・相川—「仮面」をかぶった祝福芸(2)」
 『ヒューマンライツ』74号(1994年5月)
 渡辺俊雄「どう教え・学ぶか」
 吉田栄治郎「『部落史の見直し』にかかわって」
 『ひょうご部落解放』57号(1994年5月)
 蓮城寺秋幸「一葉の写真／上東条小作争議と水平社」
 『ひょうご部落解放』58号(1994年7月)
 田宮 武「書評／キムチョンミ『水平運動史研究』」
 高柳俊男「書評／兵庫朝鮮関係研究会編『在日朝鮮人90年の軌跡』」
 蓮城寺秋幸「一葉の写真／姫路大森化製所の膠干し風景」
 <フ>
 『部落』576号(1994年4月)
 中西はるゑ「天野卓郎先生、どうぞ安らかに」
 瀬川貞太郎「漫々録／火野葦平の発禁本と『特殊部落一千年史』」
 住田利夫「本棚／『藤村の「破戒」と正岡子規』」
 『部落』578号(1994年6月)
 東上高志「『同和啓発』の終結を提案する」
 深谷克己「塚田孝・吉田伸之・脇田修編『身分的周縁』」
 『部落』579号(1994年7月)
 鈴木 良「本棚／『未解放部落の源流と変遷』」
 山路靖子「本棚／『おんな猿まわしの記』『太郎の反省物語』『次郎くん、反省!』」
 『部落解放』373号(1994年5月)

- 松浦利貞「関東の被差別部落と箴」
 川元祥一「メディアとしての旅芸人」
 (武) 塚田孝ほか『賤身分論』
 (文) 『門司部落史民俗調査研究会編『わがふるさとの源流を求めて』』
 『部落解放』375号(1994年6月)
 田村正男「差別戒名問題を独自に総括—信州・丸子町で報告書出版」
 新井勝紘「歴博へいらっしゃい—国立歴史民俗博物館と被差別部落の歴史展示」
 多田恵美子「気づかされた女性差別(1)部落の唄の聞きとりをとおして」
 三好昭一郎「徳島藩のゴミ処理問題—部落解放の視点から」
 (渡) 佐藤一『戦後史検証—一九四九年「謀略」の夏』
 『部落解放』367号(1994年7月)
 (渡) 「本の紹介／京都部落史研究所編『近代に生きる人びと』」
 (智) 「本の紹介／北崎豊二『近代大阪の社会史的研究』」
 『部落解放』377号(1994年8月)
 木津 讓「『女人禁制』を学んでほしい—ドキュメント映画『女人結界 穢れと差別』制作」
 『部落解放』379号(1994年9月)
 土方 鉄「道標236／オールロマンス闘争は演出ではない」
 藤沢靖介「関東の部落史研究の結実」
 鄭 承 博「栗須七郎先生と私」
 『部落解放』380号(1994年10月)
 岩田直二・宮崎芳彦「対談／人の世に熱あれ、人間に光あれ—『戯曲 澤田辰之助』(西光万吉著)をめぐって」
 沖浦和光「韓国の放浪芸と日本の放浪芸—映画『風の丘を越えて・西便制』をめぐって」
 (渡) 「本の紹介／トーマス・C・カンサ『ドリーム・メイカー』」
 (K) 「本の紹介／川元祥一『部落問題とは何か』」
 『部落解放』381号(1994年11月)
 高 賛 侑「見果てぬ夢の途上に倒れし人々—『山河ヨ、我ヲ抱ケ』を翻訳して」
 多田恵美子「気づかされた女性差別(下) 部落の唄の聞きとりをとおして」
 『部落解放』382号<放置された部落>(1994年12月)
 (竹) 「本の紹介／狩野俊猷・羽江忠彦『「六曜」迷信と部落差別』」
 『部落解放研究』97号(1994年4月)
 大林日出雄「部落史の窓(9)志摩会談再考」
 三原容子「図書紹介／渡部徹編『大阪水平社運動史』」
 『部落解放研究』98号(1994年6月)
 森 謙二「部落史の窓(10)『墓と葬送の社会史』その後」
 小山仁示「図書紹介／藤野豊『日本ファシズムと医療』」
 ——「第一回原田伴彦賞選評」
 『部落解放研究』99号(1994年8月)

- 『解放新聞』1688号(1994年10月)
川元祥一「文明の変革—文化の再生と再生の文化(4)」
- 『解放新聞』広島版1204号(1994年5月)
小森龍邦「歴史の教訓に学ぶ—『解放の父』松本治一郎の戦争責任をめぐって」
- 『関西大学人権問題研究室紀要』29号(1994年4月)
灘本昌久「筒井康隆絶筆事件から『蘭学事始』まで—「被差別者への配慮」を考える」
吉田徳夫「摂津役人村関係史料の紹介」
<キ>
- 『季刊・リパティ』6号(1994年6月)
守安敏司「『被差別部落出身』作家? 中上健次」
寺本 知「ドッパツという男の話—名もなく 貧しく 美しく死んでいった男の話」
大阪人権歴史資料館「第二次常設展示の案内(その2)」
太田善照「西光萬吉の戯曲『沢村辰之助』—豊かな人権感覚を耕す必読の書」
文 公 輝「歴史の足跡を訪ねて韓国を歩く」
仲間恵子「資料紹介/関西沖繩県人会機関誌『同胞』創刊号—関西に生きるウチナーン
チュ(沖繩人)の第一歩」
吉村智博「資料解説/『解体新書』」
- 『季刊・リパティ』7号(1994年9月)
長谷川賢二「徳島県立博物館での部落史展示の試み—企画展「人間に光あれ—被差別部
落に生きた人びと」覚書」
大阪人権歴史資料館「第二次常設展示の案内(その3)」
小島伸豊「衛生的なるものと差別との関係」
井上美弥子「観たり・聴いたり/劇団態変「山が動く」」
宮武利正「酒造りと水—皮・ケガレ・酒」
朝治 武「戦後初期大阪部落解放運動の一断面—部落解放大阪青年同盟をめぐる諸問題」
宮前千雅子「本/『21世紀家族へ』」
田中寛治「コラム人権/おもちゃの里の女人禁制」
吉村智博「自営と救済と分轄と—近代の学校教育と浪速地区」
今井健嗣「展示を批評する(1)埼玉県立博物館特別展「子育ての原風景」を見て」
- 『季刊・リパティ』8号(1994年12月)
チュプチセコル「CHUPORUSKUR(月の住人)」
太田恭治「藤村『破戒』の劇化・映画化—戦後部落解放運動と文化をめぐって」
文 公 輝「日立就職差別撤廃闘争終結二〇年—「朴君を囲む会」にみる在日と日本人と
の関係」
寺本 知「死へ飛びたっていった少年飛行兵の話—無惨な戦争時代の思い出(1)」
仲間恵子「沖繩・金武の移民とダバオ楽園伝説の虚像」
<ケ>
- 『荆冠旗』812号(1994年6月)
——「話題の焦点/問題の根深く—金静美『水平運動史研究』をめぐって部落解放
同盟叩きと差別糾弾パッシング」

- 『月刊滋賀の部落』228号<特別号>(1994年10月)
谷口勝巳「部落史資料について—『編年差別史資料集成』(三一書房刊)批判」
水谷孝信「書評/『近江国蒲生郡岩越家文書』」
苗村和正「書評/『豊饒な民衆史の世界を照射—畑中誠治『近世近江の農民』」
- 『月刊部落問題』209号(1994年4月)
塚田 孝「近世の法と社会(17)江戸の木戸番と株」
- 『月刊部落問題』211号(1994年6月)
塚田 孝「近世の法と社会(18)大坂の非人と垣外番株」
- 『研究所通信』193号(1994年9月)
秋定嘉和「文献紹介/『朝鮮の「身分」解放運動』」
<コ>
- 『こべる』13号(1994年4月)
師岡佑行「時評(3)囚われたままの秋水」
- 『こべる』16号(1994年7月)
小林文広「『特殊部落』とはなにか—近代部落史の一視点」
師岡佑行「勘るかの如き……(2)」
亀岡哲也「博物館展示と歴史的呼称」
- 『こべる』17号(1994年8月)
大賀正行・藤田敬一「部落解放運動新時代の可能性(上)」(～(下)、18号、9月)
- 『五郎兵衛新田記念館報』12号(1994年10月)
小林多津衛「健康な思想、精神実行に生きた偉大な真人 市川五郎兵衛翁」
斎藤洋一「第12回佐久文化賞を受賞して」
——「五郎兵衛用水古文書を読む(7)」
- <サ>
- 『雑学』9号(1994年4月)
のびしょうじ「『犬』談義」
- <シ>
- 『人権ジャーナル』17号(曹洞宗人権擁護推進本部、1994年2月)
——「内山愚童の名誉回復—その思想と行動」
- 『信州農村開発史研究所報』48号(1994年4月)
斎藤洋一「初期の五郎兵衛新田は「疎田」」
酒井慎一「図書紹介/川元祥一『文化の空白と再生』」
- 『信州農村開発史研究所報』49号(1994年7月)
斎藤洋一「高橋修峰の米田富見舞い状」
- 『信州農村開発史研究所報』50号(1994年10月)
市川包雄「三之助・源七・円蔵」
岩下文彦「平助娘さわに幸あれ」
- 『身同』12号<特集:人間に光あれI/水平社創立の意味するものI>(1994年5月)
清原美寿子「訪問インタビュー/夫・西光万吉を語る」
師岡佑行「西光万吉 人と思想—水平社創立宣言を中心に」

- 芝村篤樹「部会報告／玉井金五『防貧の創造』について」
 古田 愛「部会報告／明治二三年窮民救助法案に関する一考察」
 飯田直樹「部会報告／明治前期の大阪市街地における消防頭取」
 鶴見太郎「部会報告／柳田国男と大間知篤三」
 『日本史研究』381号（1994年5月）
 義江明子「研究ノート／古代の祭祀と女性・覚書」
 佐伯順子「書評／細川涼一『逸脱の日本中世』」
 岩崎奈緒子「書評／浪川健治『近世日本と北方社会』」
 『日本史研究』382号（1994年6月）
 布川弘・横井敏郎・原田敬一「研究展望／『戦前日本社会事業調査資料集成』と社会史研究の可能性」
 『日本史研究』388号（1994年12月）
 布川 弘「『貧民』の数—明治期における「貧民」認識の意味」
 <ハ>
 『反天皇制運動ニュース』120号（1994年5月）
 天野恵一「書評／キム・チョンミ『水平運動史研究—民族差別批判』」
 <ヒ>
 『ヒストリア』144号（1994年9月）
 網野善彦「供御人・神人の世界と近木荘」
 佐久間貴士「近木郷・近木荘の開発と村落の形成」
 近藤孝敏「近木荘の歴史と在地の動向—その成立と展開を中心として」
 ——「見学検討会／和泉国近木荘と供御人・神人」
 『批評空間』第II期2号（1994年7月）
 安宇植・村井紀・渡部直己・浅田彰・柄谷行人「共同討論／〈文学〉と差別」
 『颯（ひょう）』30号（1992年7月）
 宮本 誠「権野川の藍」(1)～
 <フ>
 『文化展望・四日市』12号（四日市市文化振興財団、1994年12月）
 和田 勉「文化芸能を支えた人びと」
 『文学界』（文芸春秋社、1992年10月）
 <追悼> 中上健次
 <マ>
 『マージナル』10号（1994年11月）
 畑中敏之「身分を越える雪駄職人—身分制社会と雪駄産業」
 <ユ>
 『ユリイカ』（青土社、1993年3月）
 <特集> 中上健次
 <レ>
 『歴史学研究』（1994年6月）
 峯岸賢太郎「書評／塚田孝『身分制社会と市民社会』」

- 『歴史教育・社会科教育年報 1994年版 歴史教育の課題と現代』（1994年8月）
 畑中敏之「『部落史』と歴史教育」
 『歴史評論』536号〈近世のなかの江戸〉（1994年12月）
 峯岸賢太郎「江戸の被差別民」
 相川由美「大名屋敷の生活と規制」

(3) 部落問題関係逐次刊行物

- <ア>
 『明日を拓く』5号（1994年3月）
 川元祥一「人間としての記号（続）」
 『明日を拓く』6号〈『解放研究』7号〉（1994年9月）
 佐藤泰治「越後の身分制度と渡守（下）」
 『明日を拓く』7号〈特集：被差別部落の生活・文化・技術 その1〉（1994年12月）
 松島一心「部落と石苗間—厳冬の育苗を可能にした技術」
 柏原ゆき江「聞き取り／私を育ててくれたもの—千葉県酒々井町上本佐倉」
 坂井康人「門付芸「ナエトリ」について(1)」
 藤沢靖介「近世の被差別民と医薬業をめぐって—歴史部会の報告と『滋賀の部落』第一巻などからの抜粋」
 友常 勉「古文書を読む会の近況／非人小屋頭・源六のこと」
 大島正裕「エッセイ&本の紹介／『東日本の近世部落の生業と役割』」
 ——『『東京部落解放研究』総目次(1)』
 『アフーマティブやまぐち21』1号（1994年9月）
 北川 健「サクセス伝 部落長者S次郎」
 <カ>
 『解放教育』315号（1994年6月）
 中村弘三「連載／戦前の少年少女運動と解放教育—日本のピオネールを追いつづけて(1)～(5)321号（1994年12月）」
 『解放真宗研究会通信』14号（1994年7月）
 川本義昭「神祇観をめぐる二、三の異論—戸次公正さんへ」
 『解放真宗研究会通信』15号（1994年）
 寺木伸明「一向一揆と被差別部落の起源をめぐって—とくに雑賀一向一揆との関連を中心として」
 『解放新聞』1664号（1994年4月）
 ——「水平社歴史館（仮称）所蔵史料から(2)」
 『解放新聞』1676号（1994年7月）
 川元祥一「文明の変革—文化の再生と再生の文化(1)～(3)」（1680号・1684号、9月）
 『解放新聞』1687号（1994年9月）
 ——「新しい部落史観を提起—奈良県同和問題関係史料センター」

- 部落解放同盟広島県連合会瀬戸田支部・通信友の会編『篠原菊市翁昔語り一夕映えにおどる風景』(1990年9月)
- 部落解放同盟広島県連合会(広島県水平社70周年記念事業実行委員会)編『広島部落解放運動史一年表と写真』(1993年7月)
- 部落解放同盟広島県連合会編『部落解放委員会駅家支部結成40周年記念—あらためて解放への長途に起つ』(1994年12月)
- <へ>
- 舩松歴史資料館編『名人阪田三吉特別展—阪田三吉ってどんな人? 舩松での阪田三吉』(1994年9月)
- <ほ>
- 細川涼一『中世の身分制と非人』(日本エディタースクール出版部、1994年10月)
- 本田 豊『江戸の部落—部落史研究の課題と方法』(三一書房、1994年7月)
- <み>
- 峯岸賢太郎『部落問題の歴史と国民融合』(部落問題研究所、1994年12月)
- <ム>
- 向原町編『向原町誌』(1993年3月)
- <や>
- 梁 永厚『戦後・大阪の朝鮮人運動 1945~1965』(未来社、1994年8月)
- <ワ>
- 和田 萃『渡来人と日本文化』(朝尾直弘ほか編『岩波講座/日本通史』<第3巻:古代2> 岩波書店、1994年4月)
- 和田恵治『被差別部落—村独立史—枝郷体制と明治初期の解放運動』(解放出版社、1994年10月)
- 渡辺俊雄編『部落史を考える—「瓦版/新刊・旧刊情報」No.1~No.12』(1994年6月)
- 渡部直己『日本近代文学と<差別>』(太田出版、1994年7月)
- 渡辺 広『未解放部落の源流と変遷—紀州を中心として』(部落問題研究所、1994年6月)

(2) 逐次刊行物

- <イ>
- 『インパクション』85号(1994年4月)
富山一郎『ブックレビュー—差別に向き合うということ—「水平運動史研究」』
- 『インパクション』86号(1994年6月)
灘本昌久・朴一・富山一郎『座談会/差別と向き合う』
- <ウ>
- 『海燕』(福武書店、1992年10月)
<特集> 中上健次追悼
- 『海燕』13巻5号(1994年5月)
安岡章太郎・組坂繁之・千本健一郎『座談会/表現は自由じゃない』
五木寛之・塩見鮮一郎『対談/差別、その「歴史的」構造をめぐって』

- 福田和也『言葉を守るもの』
絳 秀実『差別とナショナリズム』
渡部直己『俗情との結託』
- <キ>
- 『教育学論叢』2号(佐賀大学教育学部教育学研究室、1994年5月)
白石正明『明治末期の中学校「騒動」と差別問題』
『京都市史編さん通信』257号(1994年12月)
中野昌代『衛府と秩尊』
- <ク>
- 『くちくまの』99号(1994年11月)
芝 英一『田辺祭りと役人村・旧夙村(1)』
『群像』(講談社、1992年10月)
<追悼> 中上健次
- <ケ>
- 『芸備地方史研究』190・191号<創立40周年記念大会>(1994年6月)
有元正雄『安芸門徒の人間像』
- <コ>
- 『国史学研究』20号(1994年11月)
左右田昌幸『史料紹介/大坂津村御坊出張所について』
『国文学解釈と観賞』(至文堂、1993年9月)
<別冊> 中上健次
- <シ>
- 『史学研究』205号(1994年*月)
藤本清二郎『畿内型藩領賤民制の構造—岸和田藩の場合』
『情況』(1994年7月)
キム・チョンミ [聞き手・絳秀実]『差別反対運動の歴史とイデオロギー』
土方 鉄『戦時下に表現の自由はあったか』
- <セ>
- 『戦争と平和'94』3号(大阪国際平和研究所、1994年)
梁 永厚『戦前的大阪における朝鮮人子女の教育状況』
横山篤夫『地車も焼いた岸和田の空襲—40年後の聞き取りと文献の検討』
- <ト>
- 『東海近代史研究』16号(1994年12月)
渡邊則雄『愛知県における伝染病の流行とその対策—赤痢を主体に』
藤井寿一『和歌山県西牟婁郡田辺町における海野鏡円師の講演活動』
- <ニ>
- 『日本史研究』380号(1994年4月)
重松正史『都市下層社会をめぐる政治状況—1920年代の和歌山市』
高久嶺之介『新刊紹介/山中永之祐監修『近代日本地方自治立法資料集成1 [明治前期編]』』

- 四国部落史研究協議会編『史料で語る四国の部落史—近代編』(明石書店、1994年5月)
 新修大阪市史編纂委員会編『新修大阪市史』第7巻(大阪市、1994年6月)
 第三章・第一節のうち「住宅・衛生問題とスラム」「在日朝鮮人と被差別部落」
 (同)・第二節のうち「部落解放運動の新展開」〈以上の執筆:三輪泰史〉
 (同)・第三節のうち「全国水平社の転換」ほか〈執筆:小山仁示〉
- 〈ス〉
 末広町史編集委員会編『末広町史』(1993年3月)
 住井すゑ『人間みな兄弟』〈岩波ブックレットNo.346〉(1994年5月)
 住井すゑ・古田武彦・山田宗睦『天皇陵の真相—永遠の時間のなかで』〈三一新書〉(1994年7月)
- 〈セ〉
 瀬川健二郎『高木橋秘話—和田国松の偉業』〈「民衆の熱い思いと不屈の闘い」シリーズNo.8〉
- 〈タ〉
 高宮町解放教育推進協議会編『反差別のうねりを求めて』(1993年12月)
 田中 豊「大坂の茶立て女—御池通五・六丁目を中心に」(『日本文化史論集』1992年)
- 〈ツ〉
 塚田孝・吉田伸之・脇田修編『身分的周縁』(部落問題研究所、1994年5月)
 [収録論文]
 ・松本良太「江戸屋敷奉公人と抱元—信州抱元を主な対象として」
 ・吉田伸之「江戸の願人と都市社会」
 ・塚田 孝「近世狼飼の身分と職業」
 ・坂坂裕典「一七世紀における虚無僧の生成—ぼろぼろ・薦僧との異同と「乞う」行為のあり方」
 ・沢 博勝「近世—民間宗教組織と地域社会—西国三十三度巡礼行者組織を素材に」
 ・永井彰子「筑前・筑後の盲僧集団とその周辺」
 ・脇田 修「近世における職種差別の構造」
 ・杉森哲也「近世都市京都と「身分的周縁」—「宝暦四年西陣箆屋仲間一件」を素材として」
 ・熊谷光子「帯刀人と畿内町奉行所支配」
 ・畑中敏之「身分を越えるとき—雪駄をめぐる人びと」
 ・中川すがね「歌三味線の周辺」
 ・神田由筑「近世芸能興行の「場」の形成と展開」
 ・横田則子「近世都市社会と障害者」
- 〈ト〉
 東城町編『東城町史』〈近代・現代史料編〉(1993年3月)
 戸河内町編『戸河内町史』〈資料編〉(1993年10月)
 同和会山口県連合会編『同和運動のあゆみ』(柳井政雄、1992年11月)
 徳島県立博物館編『人間に光りあれ 被差別部落に生きた人々』(1994年4月)
- 〈ナ〉

- 中尾健次『弾左衛門—大江戸もう一つの社会』(解放出版社、1994年10月)
 長野県水平社創立七十周年記念行事実行委員会編『人間に光あれ—長野県水平社創立七十周年記念誌』(1994年4月)
 なかまの歴史調査委員会編『「むら」の生活史・第1集—長野県部落解放運動史』(1994年4月)
 仲村弘次『柏原北方(岩崎村)の歴史(中近世)』(柏原解放センター、1993年6月)
 仲村弘次『柏原北方(岩崎村)の歴史(近代)』(柏原解放センター、1993年7月)
 奈良県教育委員会編『奈良県立同和問題関係史料センター特別展/歴史を探る—「よき日」をめざして』(1994年7月)
- 〈ニ〉
 新田一郎『相撲の歴史』(山川出版社、1994年6月)
 日本基督教団全国婦人会連合会編『差別をめぐる人間を考える』(新教出版社、1994年5月)
- 〈ハ〉
 畑中誠治『近世近江の農民』(滋賀県同和問題研究所、1994年8月)
 ハンギョレ新聞社編・高賛侑(コウ・チャンユウ)訳『山河ヨ、我ヲ抱ケ—韓国現代史の群像』下(解放出版社、1994年7月)
- 〈ヒ〉
 東日本部落解放研究所編『東日本の近世部落の生業と役割』(明石書店、1994年6月)
 被差別部落の歴史と民俗編纂委員会編『小布施町における被差別部落の歴史と民俗』(小布施町教育委員会、1994年3月)
 広島地区高等学校同和教育推進協議会・部落研解放研顧問代表者会議編『安芸国における部落史—試論』(1993年6月)
 広島同和教育研究協議会(40周年記念誌編集委員会)編『広同教40周年記念誌』(1994年7月)
- 広島県編『広島県移住史』〈通史編〉(1993年10月)
 広島県教育委員会編『同和教育の実践のために』(1993年4月)
 広島県水平運動史研究会編『写真と史料が語る広島の人権のあゆみ—水平運動とその周辺1894~1945』(1994年7月)
 広島県立図書館編『瀬戸内海を知るために』(1994年3月)[瀧尾英二「瀬戸内海地域の「歴史記述」と人権問題—広島県における「県郡・市町村史」を中心に」所収]
 備後教区基幹運動推進委員会編『業を担って』(1992年7月)
- 〈フ〉
 藤野 豊「被差別部落」(朝尾直弘ほか編『岩波講座/日本通史』〈第18巻:近代3〉岩波書店、1994年7月)
 府中市同和教育研究協議会編『府同教二十五年のあゆみ』(1994年5月)
 部落解放同盟神奈川県連六浦支部『浜のひかり』創刊号〈特集/横浜の被差別部落の歴史〉(1994年6月)
 部落解放同盟奈良県連合会初瀬支部女性部識字学級『いばらのみち』17集(1994年10月)

資料

部落史関係文献目録

(1994年4月～同年12月)

以下の目録は、本号特集の一環として、概ね1994年4月から同年12月の間に発表された著作・論文を対象に、(1)単行本・冊子、(2)逐次刊行物、(3)部落問題関係逐次刊行物に分類して掲載した。(1)は編著者の、(2)(3)は雑誌名の50音順に配列した。なお、1988年以降に発表されたものを、若干補った。

(1) 単行本・冊子

<ア>

赤坂憲雄『柳田国男の読み方—もうひとつの民俗学は可能か』(ちくま新書、1994年9月)
赤坂憲雄『漂泊の精神史—柳田国男の発生』(小学館、1994年11月)
「あかし」編集委員会編『あかし<部落史教材資料集>』(長崎県部落史研究所、1994年8月)

朝日新聞学芸部編『中世の光景』<朝日選書512>(朝日新聞社、1994年10月)
網野善彦『中世の非人と遊女』(明石書店、1994年6月)

網野善彦「運動としての地域史研究」をめぐって(朝尾直弘ほか監修『岩波講座 日本通史』別巻2<地域史研究の現状と課題>岩波書店、1994年12月)

<イ>

石渡信一郎『日本古代国家と部落の起源』(三一書房、1994年11月)
伊藤記念財団編『日本食肉文化史』(1991年9月)

岩波書店編集部編『日本を語る』<同時代ライブラリー200>(1994年10月)
因島市立土生小学校地域史研究会編『海に生きる』(1994年10月)

<ウ>

宇佐美英機「近世物吉の生活と道」(吉田晶ほか編『歴史の道・再発見』第4巻、フォーラム・A、1994年1月)

<オ>

大阪社会労働運動史編集委員会編『大阪社会労働運動史』第5巻<高度成長期(下)>(大阪社会運動協会、1994年4月)<部落問題関係の執筆:安保則夫・福原宏幸>

大阪人権歴史資料館編『大阪人権歴史資料館年報』NO.4(1994年6月)

大阪人権歴史資料館編『日本の歴史と人権問題』(解放出版社、1994年11月)

大阪府同和教育研究協議会部落問題学習プロジェクト編『まちひとくらし—部落問題学習実践資料集 小学校高学年編』(1994年5月)

小郡市・三井郡部落史研究会編『十周年のあゆみ』(1994年)

<カ>

解放出版社編『聞き取り 水平社の時代を生きて』(1994年12月)<黒川みどり「解説/水平社運動のあゆみ」>

「(仮称)水平社歴史館」建設推進委員会編『創立期水平社運動資料』全4巻・別巻1(不二出版、1994年9月)

「(仮称)水平社歴史館」建設推進委員会編『創立期水平社運動資料』解説・細目次(不二出版、1994年9月)

萱野 茂「アイヌの歴史と私の過去」(朝尾直弘ほか監修『岩波講座 日本通史』別巻2<地域史研究の現状と課題>岩波書店、1994年12月)

狩野俊猷・羽江忠彦「「六曜」迷信と部落差別—「大安・友引」にこだわりますか」<ブックレット菜の花2>(福岡部落史研究会、1994年9月)

河田光夫『親鸞と被差別民衆』(明石書店、1994年11月)

川元祥一『部落問題とは何か』<三一新書>(1994年6月)

<キ>

北崎豊二『近代大阪の社会史的研究』(法律文化社、1994年4月)

京都市編『京都 歴史と文化2 [宗教・民衆]』(平凡社、1994年5月)<執筆:小林丈広、川嶋将生、辻ミチ子、千本秀樹ほか>

京都部落史研究所編『近代に生きる人びと—部落の暮らしを生業』(阿吽社、1994年4月)<ク>

久保井規夫『図説朝鮮と日本の歴史—光と影 前近代編』<見る!読む!歴史・民俗シリーズ第一巻>(明石書店、1994年9月)

久保井規夫『図説朝鮮と日本の歴史—光と影 近代編』<見る!読む!歴史・民俗シリーズ第二巻>(明石書店、1994年9月)

熊本市教育委員会編『熊本市戦後教育史 通史編』I II(熊本市教育センター、1994年3月)[第4章/教育充実期の光と影、第1節/市政の流れと教育行政、4:熊本市における同和教育]

久留島浩「「一村立ち」の村の自画像—和泉国南王子村の場合」(『歴史を読みなおす一家・村・領主—中世から近世へ』<朝日百科/日本の歴史別冊13>1994年8月)

<コ>

衡平運動70周年記念事業会編・民族教育研究センター訳『朝鮮の「身分」解放運動』(部落解放研究所、1994年7月)

小林大二編著『「隠さない埋めない砕かない」差別戒名の証言—丸子町の取組みから』(丸子町部落解放墓碑研究会、1994年4月)

小山仁示「大阪大空襲の記録化」(朝尾直弘ほか監修『岩波講座 日本通史』別巻2<地域史研究の現状と課題>岩波書店、1994年12月)

<サ>

斎藤洋一「被差別部落と地域史研究—五郎兵衛新田」(朝尾直弘ほか監修『岩波講座 日本通史』別巻2<地域史研究の現状と課題>岩波書店、1994年12月)

'94佐久人権展実行委員会編『水平線をめざして—佐久地方の水平運動』<佐久地域水平社創立七十周年記念誌>(1994年8月)

<シ>